



関西支部 8/5「第99回醗酵学懇話会」報告

関西支部では醗酵学懇話会と呼ばれる、醸造を中心としつつ広くバイオテクノロジーに関して情報を交換し合う講演+見学会を長年にわたって継続しております。本稿では、8月5日、キリンビール(株)神戸工場にて開催されました第99回醗酵学懇話会の様子をご紹介します。

キリンビール(株)神戸工場は、神戸市北区の豊かな緑に囲まれた場所に立地しており、見学者はユニークなバスで迎してもらえます(写真1)。当日はあいにくの天気でしたが、多くの皆さまにお集まりいただき、総勢78名もの盛会となりました。

講演会では、新進気鋭の若手研究者による講演が2件ありました。神戸大学自然科学系先端融合研究環の蓮沼誠久先生(写真2)より、「シンセティックバイオエンジニアリングによるバイオエタノール生産酵母の育種」と題してご講演いただきました。酵母を用いたバイオエタノール生産プロセスの発酵工程において問題となっている、バイオマスの前処理工程で生成する酢酸やギ酸、フルフラールによる発酵阻害を回避するために、これらに耐性を有する酵母株をメタボロミクスやトランスクリプトミクスといった網羅的解析に基づいて育種するといった、最先端の技術を上手に統合したご研究についてのお話でした。続いて、キリンホールディングス(株)技術戦略部フロンティア技術研究所の生嶋茂仁先生、吉田聡先生(写真3)より、「食用酵母 *Candida utilis* を用いた有用化合物の生産」と題してご講演いただきました。調味料の生産に用いられる食用酵母である *Candida utilis* は糖を効率よく菌体成分に変換できる特長があり、これを生かして有用物質生産を行うために開発した宿主・ベクター系を用い、植物由来タンパクのモノレリンやバイオプラスチックモノマーのL-乳酸、エタノールを高生産するという、クローニング系の確立からものづくりに至るまでのご研究についてのお話でした。フロアからも多くの質問が寄せられ、活発な講演会となりました(写真4)。

見学会は、キリンビール(株)神戸工場の美しい見学施設(写真5)で行われました。素材を手に取り、香りを確かめたり(写真5)、発酵・貯蔵タンクの模型に入ったりと、ビール造りを体感できる見学会でした。また懇親会では、講師の先生方、お世話いただいたキリンビール(株)神戸工場の方々と交え、参加者一同、大いに楽しいひと時を過ごしました。

醗酵学懇話会では、ざっくばらんな雰囲気のもとで、発酵技術を中心としつつ、皆さまの幅広いご興味にお応えすべく企画しております。今後も多くの皆さまにご参加いただけましたら幸いです。次回の第100回醗酵学懇話会は、来年2月3日(金)、大関(株)にて開催予定です。(関西支部編集委員 勝田 知尚)



写真1. キリンビール(株)神戸工場とラガーバス

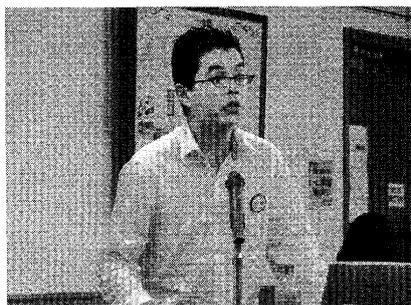


写真2. 神戸大学 蓮沼誠久先生

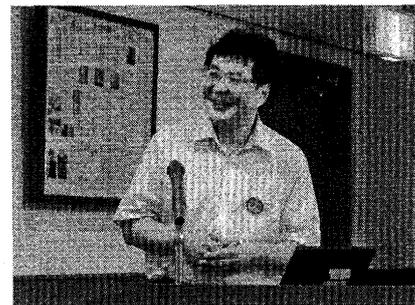


写真3. キリンホールディングス(株) 吉田 聡先生



写真4. 講演会の会場風景



写真5. 糖化釜の展示



写真6. 見学風景